



【事業類型】一般型

木戸泉酒造株式会社

事業テーマ

独自製法で醸造した銘酒「木戸泉 アフス」の輸出拡大事業

【対象類型】革新的サービス



会社の正面



高温山廃一段仕込みの醸された「アフス」

●本事業への取組みの経緯・目的

製法にこだわり続けてきてようやく一定の販路を確立しつつありました。しかし、製造工程に関わる機械類の劣化や老朽化によって生産効率が悪く、このままでは海外も踏まえた今後のニーズに対応しきれない不安がありました。同社の強みである唯一無二の味わいの醸す技術力をより生産性の高いものにするべく機械類の導入に踏み切りました。

●実施内容

作業効率を改善するため、洗壺機とマルチキャッパを導入した。また製造工程や品質保管の観点からも品質向上になるとして、サーマルタンクとクーリングロールを導入しました。



洗壺機



サーマルタンク



マルチキャッパ



定番商品

事業実施の成果

洗壺機においては機械音も静かでノズルの数も旧型より増えたので洗浄能力が飛躍的に向上しました。洗浄不十分なものはほぼ0%に近い結果となりました。専用の巻き締め機を導入したことで検査工程を分離し、検査密度を濃くすることで不良品防止を図りました。検査は目視で行います。

検査項目は、①異物混入、②しぼりかすなどによる濁りのチェックです。また一升瓶から小瓶まで自動で打栓（巻き締め）が可能になり、パート従業員でも作業しやすい環境になりました。サーマルタンクについては自動制御式の冷却機能がついており、安定的な温度管理が可能になりました。また仕込み、貯蔵どちらにも使用可能なので生産制が高まりました。これにより増産体制や新酒の切り替え時に安定的に貯蔵可能になりました。

今後の展望

生産性や品新管理において改善された部分を大事に、さらなる商品の品質向上、販路拡大に挑戦していきます。またバリエーションも増やしていき、多様な食文化に対応できるようにラインナップにしていきたいと考えています。



ラインナップの充実化

社長から一言



代表取締役 荘司 勇人

海外への出荷量が右肩上がりの日本酒業界。今後はさらにこの数字が伸びていく事でしょう。その分競争も激しくなるし、海外現地で日本酒生産も増えてきます。

50年以上前から培われてきた独自製法を継承していくことで日本酒のさらなる進化やさらなる可能性も模索しながら、木戸泉らしい自然醸造による旨き良き酒を国内・海外の皆様へお届けしていき、日本酒を通じて飲んでくれた人の心を豊かにしていきたいと思っています。

企業データ

主な事業・業種	清酒製造及び販売
得意分野	日本酒醸造
所在地	本社・事業実施場所：〒298-0004 千葉県いすみ市大原7635-1
TEL	本社・事業実施場所：0470-62-0013
FAX	本社・事業実施場所：0470-62-3300
設立	昭和27年9月1日
代表者	代表取締役 荘司 勇人
従業員数	10名
資本金	1,000万円
売上高	1億1800万円（平成29年度）
URL	http://www.kidoizumi.jp
Email	s1879@kidoizumi.jp